

平成26年度(繰越)地域活性化・地域住民等緊急支援交付金事業(地方創生先行型)総括書

担当課: 産業建設課

事業名	農産物直売所開設に伴う運営支援事業				
実施主体	栄村農産物出荷運営組合				
総事業費	18,651,000円 (内交付金) 9,700,000円				
事業概要	震災からの復興と農業振興、地域の活性化を目指して、農産物直売所を開設 村民による農産物販売所出荷運営組合を設立し運営を行うこととし、初年度の運営が 安定するよう支援				
重要業績 評価(KPI)	農産物の販売額	目標値	20,000千円	実績値	26,530千円
	農産物出荷農家数	目標値	40戸	実績値	101戸

<p>事業内容 (平成27年度に実施した内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備 (自動車、除雪車、備品導入)</li> <li>・運営支援補助 (年2回) 5,000,000円</li> <li>・運営組合役員による近隣直売施設への運営研修</li> <li>・出荷組合各部会開催 (4月中)</li> <li>・プレオープン (5月2日)</li> <li>・出荷運営組合役員会 (6月23日)</li> <li>・出荷運営組合臨時総会 (6月25日)</li> <li>・栄村農産物販売所「かたくり」オープン (7月10日)</li> <li>・初年度販売目標達成 (11月)</li> </ul>
<p>事業効果</p> <p>震災で農業生産への意欲減退にいた農業生産者は販売施設に出荷し、消費者と直接接し、特産品を販売することで、今までにない農業への意欲を取り戻し、また農業ができる楽しみをも取戻した。これにより、震災以降耕作されない農地の加速化が減少し、新たな特産品(ししこしょう、トマトケチャップなど)の生産・加工が始まり、販売施設を活用した新たな農業生産体系の取組が始まった。</p>
<p>今後の取組み (平成28年度以降の取組み)</p> <p>販売施設の安定的な販売と自立営業のために、生産者と一体となった農業生産の品目確保への取組のため、組合員との定期的な話し合いや、生産者と消費者の直接的なふれあいの機会を増やし、農業収入の増加と発展的な農業生産を図る。</p>

栄村総合戦略推進委員評価欄

事業評価	<p>A大変効果があった=2名、B効果があった=5名 Cあまり効果が無かった=0名、D効果はなかった=0名</p> <p style="text-align: right;">→ B 効果が あった</p>
【委員意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Uターン者や高齢者の方が、小規模な農業を営みながら近くで販売を行うことができ、加工にもたずさ わることがことができる施設だと思う。</li> <li>・若い就農者が増加すると良い。</li> <li>・今後は自立できるよう、更なる収入の増を目指し、生産物や生産者(新規就農者含む)の増を期待し ます。</li> <li>・栄村特産品として加工品が販売されるようになり、贈答品として使い村のアピールになりよかった。</li> <li>・品物がもっとあれば良いということもありました。</li> <li>・高齢者を含め村民の所得向上に効果はあった。</li> <li>・手数料20%の収益の中で収支が取れていかなければならない。</li> <li>・三店舗あり、その調整が必要だと思います。</li> <li>・販売員の皆さんも明るく、とても頑張っており、ご来店いただいたお客様にも大変好評を得ていると思 います。</li> <li>・今回の資料でどのくらいの収益があるのかわからないのが残念でした。</li> <li>・黒字とのことですが、冬場のマイナスをいかに減らせるかを考えていただければと思います。</li> <li>・メールマガジンなどで情報を送れば集客もアップすると思います。</li> </ul>

平成26年度(繰越)地域活性化・地域住民等緊急支援交付金事業(地方創生先行型)総括書

担当課: 商工観光課

事業名	着地型観光による誘客事業		
実施主体	森宮交通株式会社		
総事業費	8,234,424円 (内交付金) 6,500,000円		
事業概要	栄村観光資源を活かした着地型観光開発に官民で取り組む 栄村の観光PR、おもてなしセミナーの開催、着地型観光商品の開発、ホームページの作成、観光商品開発研究など		
重要業績評価(KPI)	着地型観光による観光客数	目標値	実績値
		500名	660名

事業内容(平成27年度に実施した内容)

○ツアー企画

・6/27栄村フットパスツアー7名 ・6/10泉平山菜採りツアー6名 ・9/12絶景撮影ポイント大攻略ツアー3名  
・7/26~9/13大地の芸術祭と十日町・津南・栄村の観光スポットを巡ろう3名 ・9/22幻想的な秋山郷「夢灯の旅」0人  
・10/17紅葉の秋山郷バスツアー0人 ・スカイランタンバスツアー村内宿泊81人、日帰り393人

○他団体との共同企画111人

○観光タクシー56人

○栄村観光活性化セミナー(おもてなしの極意)3回実施115人

○ホームページの作成

○旅行商品宣伝、営業活動11回

○観光宣伝広告15回

事業効果

全てのツアー企画が直前の計画だったため、宣伝や周知が十分にできず参加人数が集まらなかった。しかし着地型観光商品の取組を行ったことにより、今後の旅行商品づくりのうえで有効な判断材料となった。引き続き継続する事で主力商品づくりに結び付く手ごたえを感じた。今後は十分な広告宣伝を行える期間を考慮し、6か月~3ヶ月前から募集できるように商品づくりを実施して行きたい。

今後の取組み(平成28年度以降の取組み)

平成28年度は栄村秋山郷観光協会を通じて着地型商品づくりへの資金補助200万円を行い、来年春からの旅行商品づくりと広告宣伝に磨きをかけていく。平成29年度は更に資金補助額を増やし、おもてなし講座の開催による受入態勢の整備、観光宣伝、観光商品づくりを行い、入込客を増やしていく。

栄村総合戦略推進委員評価欄

事業評価	A大変効果があった=1名、B効果があった=5名 Cあまり効果が無かった=1名、D効果はなかった=0名	→	B 効果が あった
【委員意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯山→秋山→湯沢ルートなどは今後の観光客増につながる可能性を感じます。</li> <li>・人口集中地区から競争でお客さんを連れてくるだけでなく、地方と地方の間での相互交流を図る取組みにも可能性を感じます。大都市をハブにせず、地方と地方が直接つながる方式に可能性を追求していただきたい。</li> <li>・しっかりと分析して、地域(受入側)とも連携して交流が広がるような取り組みに期待します。</li> <li>・つながりが切れないように、大事にしてほしいと思います。</li> <li>・1社しかないで競争が無い。村外の近隣業者にも栄村をアピールしてもらってはどうでしょう。</li> <li>・秋山を含め村外からもっと誘客できるように努めていただきたい。</li> <li>・行政が深く関わっていくべきでは行くべきではないと思います。</li> <li>・勉強されたことを来年度以降に活かしてほしいと思います。</li> <li>・もっとたくさんの人を呼べるような宣伝と企画を期待しています。</li> <li>・秋山郷ツアーの集客に力を入れていただきたいと思います。また広報媒体を増やしたらいいと思います。</li> </ul>		